

今を未来に

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

学校関係者評価（「教育活動についてのアンケート」）をおこないました。この取り組みは学校教育法に基づいたもので、子ども・保護者・教職員にアンケートをし、その結果から本校の教育活動の成果と課題を検証し、学校運営や指導の改善に生かすことを目的にしています。特に保護者の皆様にはお忙しい中でアンケートへのご回答をいただき、ありがとうございました。

アンケートの集計をする中で、保護者の皆様がお子様のことや学校のことを普段からよく見て考えていただいていることが、ひしひしと伝わってきました。各質問項目についての集計と分析の結果を過去2年間の推移なども交えてお知らせします。また、記名の上で記述いただいたご意見・ご要望につきましては、学校からの回答も合わせて紹介させていただきます。無記名の方からのご意見につきましては、本通信での回答は控え、職員間で共有し、今後の取り組みに生かしていきたいと思いをします。

保護者アンケート

		質問項目 / 評点	令和2年度				おおむね高評価★の割合		
			4	3	2	1	今年	昨年	2年前
豊かな感性	1	お子さんは自分のよいところが分かっていますか。	26.7%	56.3%	15.2%	1.7%	83.0%	76.0%	77.7%
	2	相手の気持ちを考えた話し方や接し方ができますか。	25.6%	55.7%	17.8%	0.9%	81.3%	78.4%	77.9%
	3	自分の思いを相手に話すことができますか。	23.9%	53.1%	20.5%	2.6%	77.0%	73.7%	73.6%
	4	人の話を落ち着いて聞くことができますか。	28.8%	53.0%	16.8%	1.4%	81.8%	78.8%	75.0%
	5	自分からすすんであいさつをすることができますか。	32.1%	40.8%	23.2%	3.9%	72.9%	73.4%	71.8%
やり切る態度	6	いろいろなことを最後まで「やりとげる」ことができますか。	24.6%	52.4%	22.1%	0.8%	77.0%	79.5%	75.6%
	7	家庭学習をする習慣がついていますか。	34.8%	41.9%	20.2%	3.1%	76.7%	78.9%	73.0%
	8	読書をしていますか。	22.9%	29.6%	30.9%	16.6%	52.5%	46.5%	47.0%
	9	自分からいろいろなことをやってみようとする姿勢がありますか。	34.1%	46.2%	18.5%	1.2%	80.3%	77.5%	77.3%
生きぬく基礎	10	毎日歯みがきをする習慣が身についていますか。	59.6%	33.7%	6.4%	0.3%	93.3%	92.7%	90.2%
	11	自分から人に尋ねたりお願いしたりすることができますか。	29.5%	49.6%	19.0%	2.0%	79.1%	74.3%	75.0%
	12	約束やきまり等を守る姿勢が身についていますか。	30.3%	53.6%	15.3%	0.9%	83.9%	81.9%	80.5%
	13	「読み・書き・計算をする力」が身についていますか。	34.2%	48.4%	15.4%	2.0%	82.6%	78.4%	81.6%
市からのおたすね	14	「育ちのプログラム」をもとに、ご家庭でも子どもの将来を見据えた言葉がけや支援をいただいていますか。	14.8%	55.0%	27.6%	2.6%	69.8%	63.1%	64.9%
	15	通信やHP等で学校や子どもの様子が伝わっていますか。	28.6%	59.8%	10.7%	0.9%	88.4%	86.3%	91.6%
	16	気づいたことや心配ごと等を学校に伝えることができますか。	31.8%	57.2%	9.8%	1.2%	89.0%	92.1%	88.5%
	17	学校は少人数指導など丁寧な指導をしていると思いますか。	28.5%	62.2%	8.4%	0.9%	90.7%	88.6%	86.7%
	18	学校は個々の違いを受け止め、子どもの理解・支援を適切に行っていますか。	26.2%	62.5%	10.2%	1.2%	88.7%	90.1%	87.5%
	19	学校は保護者や地域の方が授業などに参加する機会を設けていますか。	39.1%	54.8%	5.0%	1.2%	93.9%	96.5%	96.8%

※ 評点について…… 4 :とてもそう思う 3 :そう思う 2 :あまりそう思わない 1 :全く思わない

★おおむね高評価……評点4・3の合計

児童アンケート

		質問項目 / 評点	令和2年度				おおむね高評価★の割合		
			4	3	2	1	今年	昨年	2年前
豊かな感性	1	自分のよいところが分かりますか。	39.7%	38.3%	14.4%	7.6%	78.0%	79.1%	79.0%
	2	自分や友だちを大切にしていますか。	73.2%	24.6%	1.7%	0.6%	97.8%	97.2%	97.7%
	3	自分の思いを相手に話せていますか。	43.6%	38.7%	14.2%	3.4%	82.3%	76.3%	78.5%
	4	先生や友だちの話を聞くように心がけていますか。	64.5%	32.7%	2.5%	0.3%	97.2%	93.5%	89.5%
	5	すすんであいさつをすることができますか。	59.5%	29.5%	8.5%	2.5%	89.0%	87.9%	89.7%
やり切る態度	6	いろいろなことを最後までやりとげていますか。	50.0%	40.1%	9.0%	4.8%	90.1%	85.3%	88.9%
	7	毎日、家庭学習をしていますか。	61.1%	27.6%	4.0%	0.3%	88.7%	81.9%	90.3%
	8	読書をするのが好きですか。	48.6%	25.1%	14.7%	11.6%	73.7%	77.4%	79.0%
	9	いろいろなことをやってみたいという気持ちがありますか。	65.5%	28.0%	5.6%	0.8%	93.5%	91.6%	90.6%
生きぬく基礎	10	毎日歯みがきをして、歯を大切にしていますか。	72.9%	22.9%	4.0%	0.3%	95.8%	91.2%	92.3%
	11	わからないことを、たずねることができますか。	47.2%	36.4%	12.8%	3.7%	83.6%	85.0%	84.9%
	12	けがや事故がないように安全に気をつけていますか。	73.9%	22.4%	2.8%	0.8%	96.3%	94.6%	93.8%
	13	学校の約束やきまりを守っていますか。	58.2%	35.2%	4.8%	1.7%	93.4%	91.8%	89.8%
	14	「読んだり書いたり計算したり」することができますか。	71.4%	24.1%	4.2%	0.3%	95.5%	92.4%	90.0%
	15	算数の学習内容は、よく分かりますか。	57.5%	31.4%	6.5%	4.5%	88.9%	83.1%	85.2%
市からのおたずね	16	学校はたのしいですか。	64.7%	24.9%	5.9%	4.5%	89.6%	88.7%	85.8%
	17	いじめや仲間はずしは、していませんか。	81.6%	12.1%	1.7%	4.5%	93.7%	90.7%	95.5%
	18	授業で学んだことは将来の役に立つと思いますか。	74.9%	19.8%	3.1%	2.3%	93.7%	93.8%	94.3%
	19	将来の夢や目標をもっていますか。	60.9%	25.8%	8.2%	5.1%	86.7%	89.0%	86.1%

※ 評点について…… 4 :とてもそう思う 3 :そう思う 2 :あまりそう思わない 1 :全く思わない

★おおむね高評価……評点4・3の合計

集計結果からの分析

「豊かな感性」の項目にかかわって

“自分の思いを相手に話すこと”と“人の話を最後までしっかりきくこと”については、本校が継続して重点指導項目として取り組んできた課題です。個別に見るとまだ課題は残されていますが、家族どうしの会話や友だちどうしのやりとり、授業での発表や話し合いの場面で、保護者の皆様や子ども達が着実な成長を感じていることが、3年間の推移にも表れています。

あいさつについては、保護者・児童の集計から高い評価が示されていますが、教職員の集計結果とはかなり開きがあります。できる子はしっかりできますが、相手からのあいさつに返すこともできない子もいるといった二極化の現状もあります。学校では、登校班や、異学年どうしでのたてわり班活動などの場面を通して、特に高学年が低学年の子にお手本となるようなあいさつができるように指導をしています。教え込まれてするあいさつから、活発にあいさつが交わされる中で自然に習慣になっていくような環境を、学校でもご家庭でもつくっていききたいものです。

「やり切る態度」の項目にかかわって

“家庭学習の習慣”については学力向上にかかわる種々の取り組みの成果もあり、本校でも4年前から

大きく改善が見られ、それ以来、高水準で継続していることが結果からうかがえます。昨年度末からのコロナ対策による休校期間の過ごし方とも関連があると思われます。何を（内容）どのくらい（時間）学習しているかということも大切ですが、それよりも子どもが毎日一定時間、学習に向かう習慣をしっかりとつくるのが小学生の段階では重要です。

“読書”については、学校で図書室をどのくらい活用しているかご家庭では実態をつかみにくいこともあり、保護者評価では例年5割前後の数値となっています。また子ども達の自己評価でも他の項目と比べると低くなっています。本校では学校図書館司書を中心として図書室の環境整備や蔵書増、年に2度の「図書館まつり」での取り組みを通して、子ども達が本と触れる機会を意図して設定しています。また、子ども達に好評な地域・保護者ボランティアによる朝の読み聞かせは今年度の状況から休止していますが、ご家庭でも機会があればぜひ読み聞かせをしてやっていただけたらと思います。

「生き抜く基礎」の項目にかかわって

“分からないことを尋ねる・困ったときに助けを求める”ことは、今後社会を生きていくすべての子ども達にとって、もっとも重要な資質です。この項目については3年間の推移をみると大きな変化はありませんが、授業中の質問に限らず、学習以外の場面でも、身近な人（おうちの人・地域の人・教師・友だち）に助けを求めることに抵抗のある子が一定数いることも分かります。保々小では、学級づくり・仲間づくりの大きな柱として、「困っている友だちが、その困り感を安心して出せるような集団づくり」「課題を抱えた友だちのことを、弱さも含めてまるごと受け止められる集団づくり」に主眼を置いて取り組みを進めています。

“読み・書き・計算の力”“算数の内容がよく理解できていますか”の項目について、保護者・子どもいずれの集計からも高い評価が示されていますが、苦手感情の強い子が一定数いることも分かります。‘よくわからない’と回答している子は全体の4.5%であるのに対して、保護者の視点では17.4%であるという数値の開きがあることは、上記のように、授業で分からないことを質問したりして学校では解決できず、おうちで課題が出てしまっていることの表れであると学校は重くとらえています。

今年度は休校期間中のカリキュラムを確実に消化させることを重視してきましたが、同時に、子ども達の学力の実態に合わせた授業進度となるように、教職員一同、常に自己チェックしながら学習を進めているところです。

「市からのおたずね」の項目にかかわって

“育ちのプログラム（学校教育ビジョン）」をもとに、ご家庭でも子どもの将来を見据えた言葉かけや支援をしていただいていますか”については、例年なかなか数値が向上していかない現状があります。次ページの記述のご意見への回答にもありますように、「育ちのプログラム」は、わが子への教育や子育ての道しるべとなるものです。今の子どもの実態をふまえて、当面どこを目標にしていけばよいか、短期目標を立て、その目標に向けて明確な意図や願いをもちながら教育や子育てをしていくための一つの資料となるものです。学校からの周知・案内・啓発の不足であるととらえ、改善に取り組む必要性を感じました。

児童アンケート中の“いじめや仲間はずしをしていませんか”の項目については、‘私はしていない’が3または4の評価となりますが、逆の1または2と回答している例が少なからずありました。各学期に実施している子ども達への「いじめ調査」からはこれほど高い加害の実態は出ていません。来年度のアンケート用紙では回答に混乱がないよう、改善させていただきます。

ご意見・ご要望（記述）

記名の上でお寄せいただいた学校教育へのご意見・ご要望および学校からの回答を以下に掲載いたします。

種別	いただいたご意見・ご要望	学校からの回答
要望	登下校の距離が長いので、家で使わないものは、学校に置いたままにしてもらえたらと思います。	教室のロッカーや机の中のスペースの関係もありますが、限られたスペースを活用しながら、使用頻度と照らし合わせながら、教室保管と持ち帰りの物品とを分けています。 3年生以上では、四日市市全体の申し合わせ通り、理科・社会科の教科書や地図帳などは基本的に教室保管を可としています。
要望	学級だよりは写真が多く、細かいクラスの様子が分からない。他の学年に比べて、たよりも少ない。	学級通信の発行回数は学校全体で申し合わせをしたりしているわけではなく、各担任が日常の学校生活の中で子ども達の素敵な姿や伸びあるいは課題等があった際に、ぜひそれをお伝えし全体で共有をはかりたいという願いのもと、自発的に発行しているものですので、各担任ごとで発行頻度に差が出るのはやむを得ないところだご理解ください。
要望	ホームページの記事や写真をもっとアップしてほしい。 [複数]	しかし、学校と家庭とで情報共有をはかることはとても重要ですので、ホームページの更新も含め、できる限り頻度を上げていくように再度心がけたいと考えています。
要望	すべてがその時の状況によるので、このアンケートの項目に答えるのが難しいと思います。 子どもの様子を見ながら、将来の話をしています。	正式名称は「校園・家庭・地域が連携して進める保々地区18年間(社会へ)の育ちのプログラム」といいます。学校の運営、教育活動のすべては、子ども達の実態とこのプログラムとを照らし合わせて目標設定した上で計画・実施しています。 ご家庭でも、ぜひその理念を生かしながら子育てを進めていって下さいということですが、プログラムができてから年数がかなり経過し、集計結果からその解釈と活用の方法が難しいと感じられている方が増えている現状もありそうです。 ごく単純に言えば、このプログラムは「〇歳までに、この段階まで発達していなければならない」というようなものではなく、「今の我が子の実態がどの辺りにあるかを見て、次の目標をどこに置いて子育てすればよいか」の道しるべ(指標)にするという活用が適切でしょう。 例えば「小学校2・3・4年」のステージがありますが、これはあくまでも目標を設定するための大まかな目安に過ぎません。発達のスピードは子どもそれぞれに違いますから、例えば目の前の子どもの実態が、「おおむね3歳程度の保育園児」のステージであるならば、それを踏まえて「年中・年長・小1」ステージをまずは目標にすればよいわけです。
要望	「育ちのプログラム」を理解しておらず、回答ができませんでした。	こうした解釈の仕方や、子育て・教育への具体的な活用の在り方については、折に触れて説明・啓発をして共通理解をはかる取り組みの必要を感じました。
要望	昨年スクールカウンセラーに発達検査をしていただき、算数の授業で分かりやすいように取り組んでいただいたと聞きましたが、学年が上がる時に、そういったことの引き継ぎなどはされないのですか？一度相談したことも、担任が変わることで、なかった事になるのですか？	ご指摘のようなことは決してありません。新旧の担任間での引き継ぎは時間をかけて綿密にしていますし、特に個別の支援を要する子については、その支援の在り方がどうなのか、スクールカウンセラーを含めた校内の特別支援委員会を毎月開いて話し合い、職員間でしっかりと共通理解をはかっているところです。 ただし、学校の対応や支援に不十分なところや不安に感じられる部分がある場合は、遠慮なくお伝えください。

<p>要望</p>	<p>コロナでいろんな判断が難しいのは分かっていますが、こんなにさみしい学校行事は初めてです。その中で、子ども達にたくさん経験をと考えて実施していただいていることには感謝しています。</p> <p>在校生はもちろん、小学校入学を楽しみにしている就学前の子たちにも、入学前からのワクワクを、その時にしかできないことを考えていただくと幸いです。どの子にも今の学年はこの1年だけです。一年一年を大切にできる学校生活であってほしいです。</p>	<p>プール、運動会、社会見学、修学旅行、調理実習など各種の体験的学習、集会、卒業式・入学式等々、今年度は多くの中止や縮小がありました。それぞれの行事や学習を楽しみにしていた子ども達の気持ちを考えると、本当に胸の痛む思いです。</p> <p>まさにご意見の通り、限られた条件の中で「子ども達にはこんな学びをしてほしい」という願いのもと、職員間で熟慮しながら教育活動を進めてきました。まだ同じような状況はしばらく続きそうな気配です。</p> <p>保々小独自の工夫や裁量で可能な部分と、他校、他地区との足並みをそろえなければならぬ部分をしっかり見極めながら、学校行事や教育活動の練り直しを今後も進めていきたいと思っております。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>様々な事に興味を持ち取り組む姿は見られますが、「最後までやり切る」となると、本人もそうだし親も見届けられているのかという、そうでもないこともよくあるなど改めて感じました。「やり切る態度」を身につけることが我が家の課題だと思いました。</p>	<p>まさにご意見の通り、ひとつの事を自分が納得いくまでやり通すことは、とても大事ですね。将来的に強く求められる人間像でもあります。</p> <p>「育ちのプログラム」・学校教育ビジョンの中にも、柱として位置づけ、学校として重点指導課題としているところです。</p> <p>時間や効率を重視するあまり、「さっさとやろうね」と急がせたり、「もっとこうしたら？」と、つい手出し口出ししたりしてしまうことで、ひとつの物事に没頭する子どもの妨げとなってしまうことはできる限り避けたいものですね。私たち教職員も常に自己反省が欠かせません。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>家では学校であった事を話してくれていると思います。学校では意見があまり言えないように思います。</p> <p>内弁慶などところがあるので、少しずつ自分から自分の思いなどを伝えられるといいなと思います。</p>	<p>おうちでしっかりと親子の対話をしてもらっているのですね。そういった時間の保証は、子どもの心の安定といった視点で、とても有効だと思われれます。</p> <p>各学級・各授業でも、まずは担任や授業者が、子どもの思いをしっかりと受け止めること、思いを言葉に直して表現させることを心がけながら接しています。同時に子どもが話したいと思えるような集団の雰囲気づくりも目指しています。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>息子は今年に入り、不安が強かったが、それに向き合い、乗り越え、気持ちを伝える、やってみよう、そんな力がついたと思います。見守っていただき、ありがとうございました。</p> <p>まだまだ恥ずかしさがあり、やれそうな事もできない時があります。</p>	<p>小集団あるいは全体場で何かを発表したりする場面を多く設定し、子ども達に積極性やチャレンジする心を育てたいと願っています。失敗して冷やかされたという苦い経験がそれらの心情を伸ばす妨げにならないよう、周りの子ども達には、どのように受け止めるとよいのか、どのように励ましたらいいのかという指導も大事にしています。</p>

<p>家庭・子ども</p>	<p>集中して人の話を聞けるようにしていきたいと思っています。</p> <p>あいさつがあまりできないので、できるようにしていきたいです。</p>	<p>話を聞くことは、学力向上はもちろんのこと、コミュニケーション力や円滑な人間関係をつくっていく上でも欠かせない資質です。このことについても、「育ちのプログラム」・学校教育ビジョンの中に柱として位置づけ、学校として重点指導課題としているところです。授業を主として、聞きたくなるような話の内容や話し方を考えたり、聞かなければならない状況をつくり出したりと、様々な工夫をしているところです。</p> <p>あいさつについては個人差が大きく、教職員のアンケート結果からも課題が浮き彫りになっています。学校でも日常の生活指導や運営委員会を中心にした取り組みを続けていますが、実態はなかなか向上していない現状です。社会に出てからもあいさつはすべての基本とされますが、社会人になってからではなかなか身につけません。ご家庭でも習慣づけを進めていってください。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>お友達との関わり方、お友達にやさしくできているか、気になります。</p> <p>あまり周りの事を考えられないので、もう少し考えられるようになるとういなと思います。</p>	<p>友だちとのトラブルなど身近で起きた問題や、大きな社会問題まで、どんなことでも、「自分も当事者になるかもしれない。自分だったらこう考える」という観点でその問題をとらえさせる、つまり「自分事」としてとらえさせることを指導の基本としています。子どもどうしのトラブルが起きて全体で話し合いをした時に「こうやって言うとうよかったね」と当事者に声をかける子どもが多くいます。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>前にテレビで、横断歩道を渡ろうとする人がいる時、車が停まらないのは三重県が全国ワースト1だそうです。私も停まらない時があったなと思い、気をつけていますが、停まった時に小学生が知らん顔をして渡っていく時もあります。「ありがとう」や頭を下げただけでも、運転している人の気持ちもちがうと思います。車が停まらなければならないのは当たり前だと思いますが、渡っていく子ども達の態度も大切だと思いました。当然、きちんとあいさつをしていく子もいます。決して子どもだけが悪いわけではないのですが、お互いの気持ちも大切だと思いました。</p>	<p>以前の朝の番組で特集されていましたね。私たち大人も襟を正す必要を感じました。番組の中で、ベスト1である長野県の取り組みも紹介されていました。以前から長野県では横断する子ども達が渡り終わった後、待っていてくれる運転手に向かって「ありがとうございます」といって、深々と一礼するよう、県全体で指導に取り組んできたそうです。歩行者側がちょっとしたあいさつや感謝の姿を示すことで、運転手にとっては法令を守る当然の行為というより、「停まってあげたい」という自発的な行為に変化していくことが、交通事故の防止にもつながっているとのことでした。四日市市内でも同じような取り組みが進められて、習慣化された地区があります。</p> <p>どちらにも共通して言えるのは、長い期間をかけて取り組みを継続してきたことと、学校だけでなく家庭や地域が一体となって取り組んできたということです。交通安全の視点はもちろん、子ども達に感謝の心情や礼儀作法を育てるという視点でも、モデルにすべき、たいへん有効な取り組みだと思います。</p> <p>保々小でも、地区別児童会や安全指導の中で「停まってくれた車には必ずあいさつを」と指導していますが、まだまだ全体に浸透していない現状です。学校から家庭・地域へと取り組みを広げていく必要を感じています。</p>
<p>家庭・子ども</p>	<p>もっと本を読んでほしいな。家での読書の時間はあんまりない…。でも学校では図書室にも行くと言うので、そこそこ読んでいるのかな。</p>	<p>読書量についても個人差の大きい課題項目となっています。読書は知識・想像力・豊かな心情・道徳性など様々な力を子どもに与えてくれます。</p> <p>数年前から本校でも新刊図書を入れ、蔵書数が充実してきました。学校では年に2回の図書委員による「図書館まつり」の期間を中心にした様々な取り組みで成果が表れています。図書館司書の教員による図書室の環境整備も子ども達の読書意欲を大きく向上させています。</p> <p>今年度はコロナの感染防止のためストップしていますが、図書ボランティアの皆様による朝の読み聞かせも、子ども達が楽しみにしている取り組みのひとつですので、再開が待ち望まれるところです。</p>

教職員アンケート

	質問項目 No.2～13の主旨は「子ども達」	令和2年度				おおむね高評価★の割合		
		4	3	2	1	今年	昨年	2年前
豊かな感性	1 子ども達個々のよさを引き出せているか。	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	89.5%	96.6%	92.9%
	2 場に応じた話し方や接し方ができているか。	5.0%	45.0%	50.0%	0.0%	50.0%	55.2%	53.6%
	3 自分の思いを相手に話せているか。	0.0%	85.0%	15.0%	0.0%	85.0%	79.3%	82.1%
	4 人の話を聞く姿勢を身につけてきているか。	10.0%	50.0%	40.0%	0.0%	60.0%	79.3%	57.1%
	5 元気よくあいさつができているか。	10.0%	55.0%	35.0%	0.0%	65.0%	62.1%	75.0%
やり切る態度	6 最後まで「やりとげる」ことができているか。	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	90.0%	89.7%	82.1%
	7 家庭学習を進んでする習慣がついているか。	16.0%	73.0%	11.0%	0.0%	89.0%	82.8%	82.1%
	8 読書の習慣が身についているか。	7.0%	61.0%	32.0%	0.0%	68.0%	72.4%	82.1%
	9 自分からやってみようとしているか。	5.0%	71.5%	22.0%	1.5%	76.5%	86.2%	85.7%
生きぬく基礎	10 早寝・早起き・朝ご飯等の生活リズムが身についているか。	26.0%	68.0%	6.0%	0.0%	94.0%	75.9%	85.7%
	11 自分から人に尋ねたりお願いしたりできているか。	8.6%	71.7%	14.8%	4.9%	80.3%	69.0%	92.9%
	12 安全の約束やきまり等を守れているか。	6.9%	82.3%	8.0%	2.8%	89.2%	72.4%	71.4%
	13 「読み・書き・計算の力」が身についているか。	6.0%	75.0%	19.0%	0.0%	81.0%	75.9%	85.7%
学校運営・家庭・地域との連携	14 「育ちのプログラム」等を意識して教育活動をしているか。	36.8%	60.5%	2.7%	0.0%	97.3%	89.7%	92.9%
	15 「学び合う授業」を進めることができたか。	9.3%	84.2%	6.5%	0.0%	93.5%	89.7%	92.9%
	16 通信やHP等で学校や子どもの様子を伝えているか。	16.0%	68.0%	16.0%	0.0%	84.0%	78.6%	71.4%
	17 保護者の思いを誠実に受け止めているか。	36.7%	57.8%	5.5%	0.0%	94.5%	96.6%	100%
	18 少人数指導等ていねいな指導をしているか。	25.5%	65.3%	5.0%	4.2%	90.8%	96.6%	89.3%
	19 子ども個々の違いを受け止め、理解や支援を適切に行っているか。	39.0%	54.0%	4.2%	2.8%	93.0%	96.6%	96.4%
	20 保護者や地域の方が授業等に参加する機会を設けているか。	35.0%	40.0%	25.0%	0.0%	75.0%	80.0%	80.0%

※ 評点について…… 4 :とてもそう思う 3 :そう思う 2 :あまりそう思わない 1 :全く思わない

★おおむね高評価……評点4・3の合計